

SP-5/7 Wシリンダー水打設方法



動画再生時間5分30秒

水打設で準備する物

スポンジ挿入管

積層スポンジ

吸水ホース

シリンダー側アダプター

パイプ側アダプター

押え金具

水タンク

打設前には満タンにすること

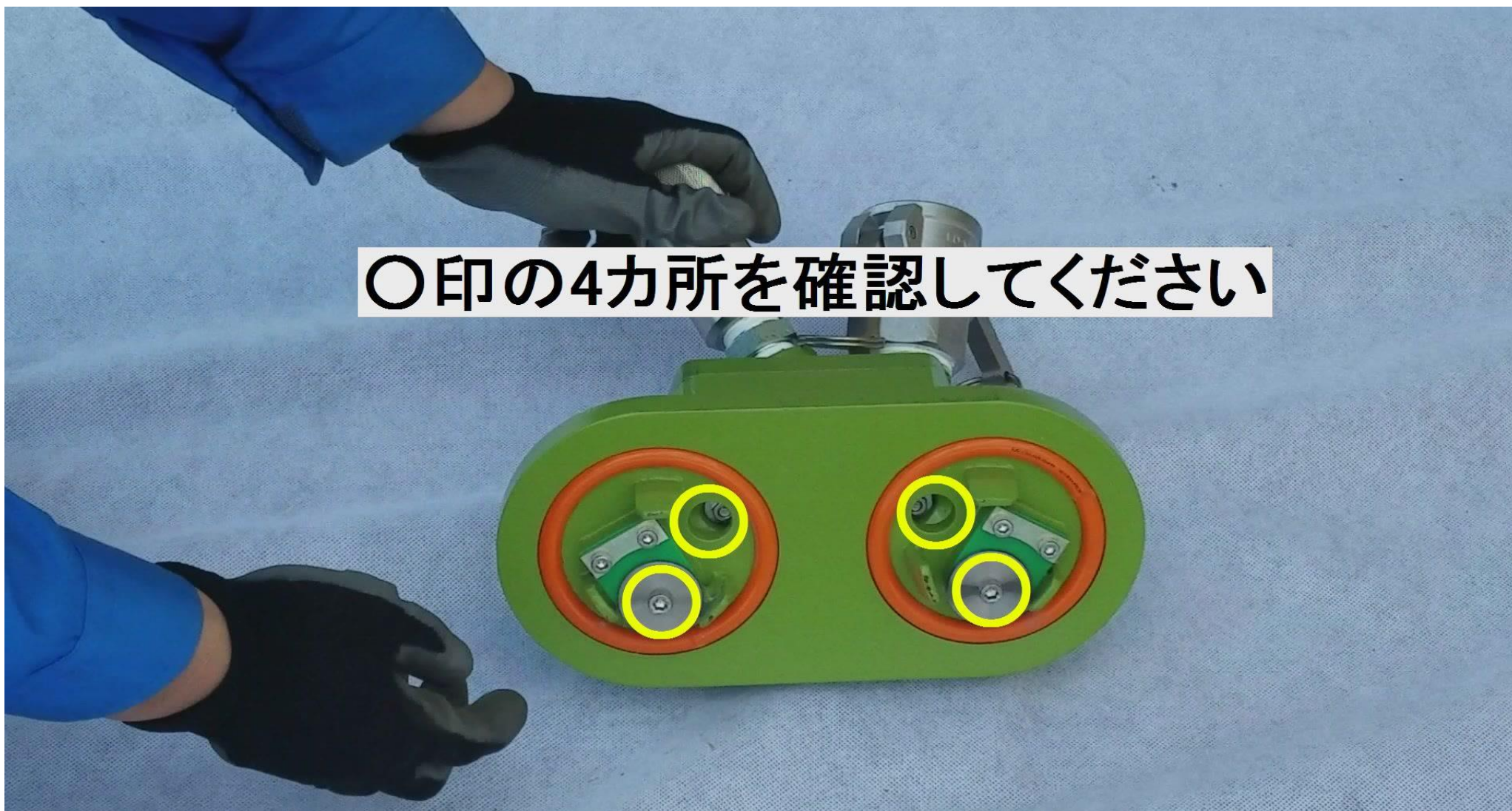


事前準備1

シリンダー側アダプターのフラップに石等の異物が挟まっていないか確認します。



○印の4力所を確認してください



事前準備2

スポンジを挿入管に詰めます。



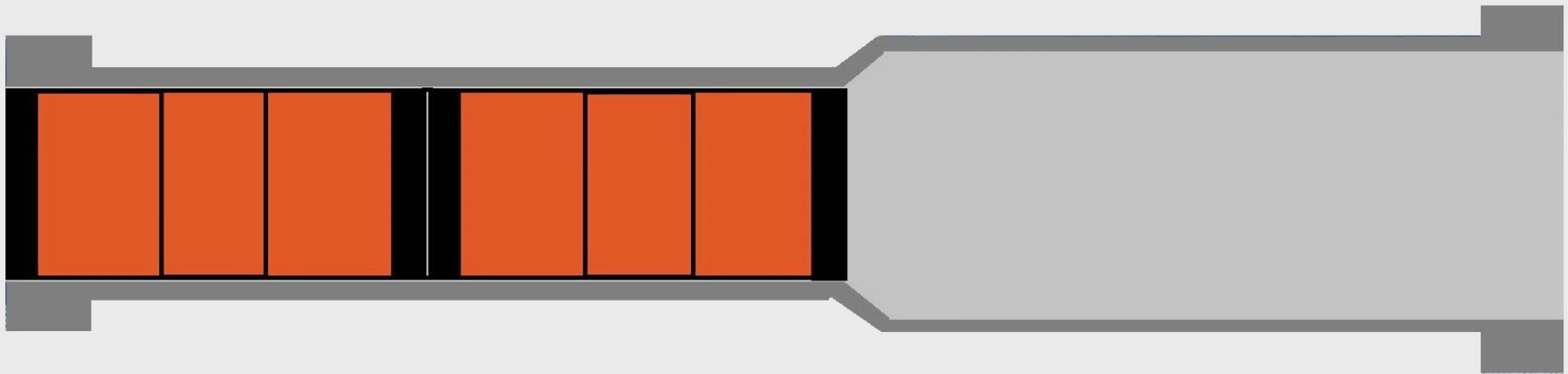


スポンジを挿入管に詰めるときは、スポンジに水を吸収させ黒いゴムがめくれないように注意して下さい。

※スポンジの個数は配管長等により変わりますので、事前の打合わせをお願いします。

※スポンジは事前に詰めて準備しておいて下さい。

スポンジ挿入例 (2個の場合)



図のように1個目は挿入管の先端まで、2個目以降はなるべく隙間なく詰めて下さい。

スポンジ挿入画像



良い例

黒いゴムの面しか
見えない



悪い例

スポンジ面が見えている

水打設方法作業手順

- ①逆送で配管内の残圧を抜き、配管を外す
 - ②ホッパーを開け、面板とシリンダー内を洗浄する
 - ③水打設器具を取り付ける
 - ④吸水ホース・パイプ側アダプター取付
(レバーロックカプラーとワンタッチカプラーの取付確認)
 - ⑤配管内とシリンダー内のエアーを抜き、ストッパーを開ける
 - ⑥水打設スイッチをONにし、配管からスポンジが出るのを
確認して終了
- (ご不明な点で、お問合せ時は手順番号も一緒にお伝えください)

水打設開始

手順1番目/全6手順

作動油温



緊急停止



強制スライド

右
↑
左
↓

水打設

ON
↑
OFF
↓

コンクリート圧送

正送
↑
停止
↓
逆送

攪拌有効

ON
↑
OFF
↓

攪拌装置

正転
↑
停止
↓
逆転

10. 各装置を確認して下さい。(水打設)

2. ホッパ内に手配を入れない事。(ホッパ)
3. コンクリート打設スイッチと水打設ス

使用後の点検・注意事項

1. コンクリートシリンダ、ホッパ、バルブ
2. 機体洗浄時、操作パネルに直接水を
3. コンクリートパッキン・バルブ (二つ)
4. バルブ潤滑部には、全体にグリスを
5. 各グリスニップルにグリスを給油して
6. コンクリートシリンダ保護の為、コン

(ホッパ)を倒しておく、又はホッパを

「コンクリート圧送」スイッチで逆送をし、ストッパーを閉じます。



作動油温度



理論吐出量 m^3/h



緊急停止

強制スライド

右
↑
左
↓

水打設

ON
↑
OFF
↓

コンクリート圧送

正送
↑
停止
↓
逆送

攪拌有効

ON
↑

攪拌装置

正転
↑
停止
↓

10. 各器具を確認して下さい。(水打設)

使用中の注意事項

1. 機内に立ち入らない事。
2. ホッパ内に手足を入れない事。(ホッパ)
3. コンクリート打設スイッチと水打設スイッチ

使用後の点検・注意事項

1. コンクリートシリンダ、ホッパ、バルブ
2. 機体洗浄時、操作パネルに直接水をかけない。
3. コンクリートパッキン・バルブ (二つ)を点検し、必要に応じて交換する。
4. バルブ駆動部には、全体にグリスを塗布する。
5. 各グリスニップルにグリスを給油する。
6. コンクリートシリンダ保護のため、コンクリートホッパを倒しておく、又はホッパを

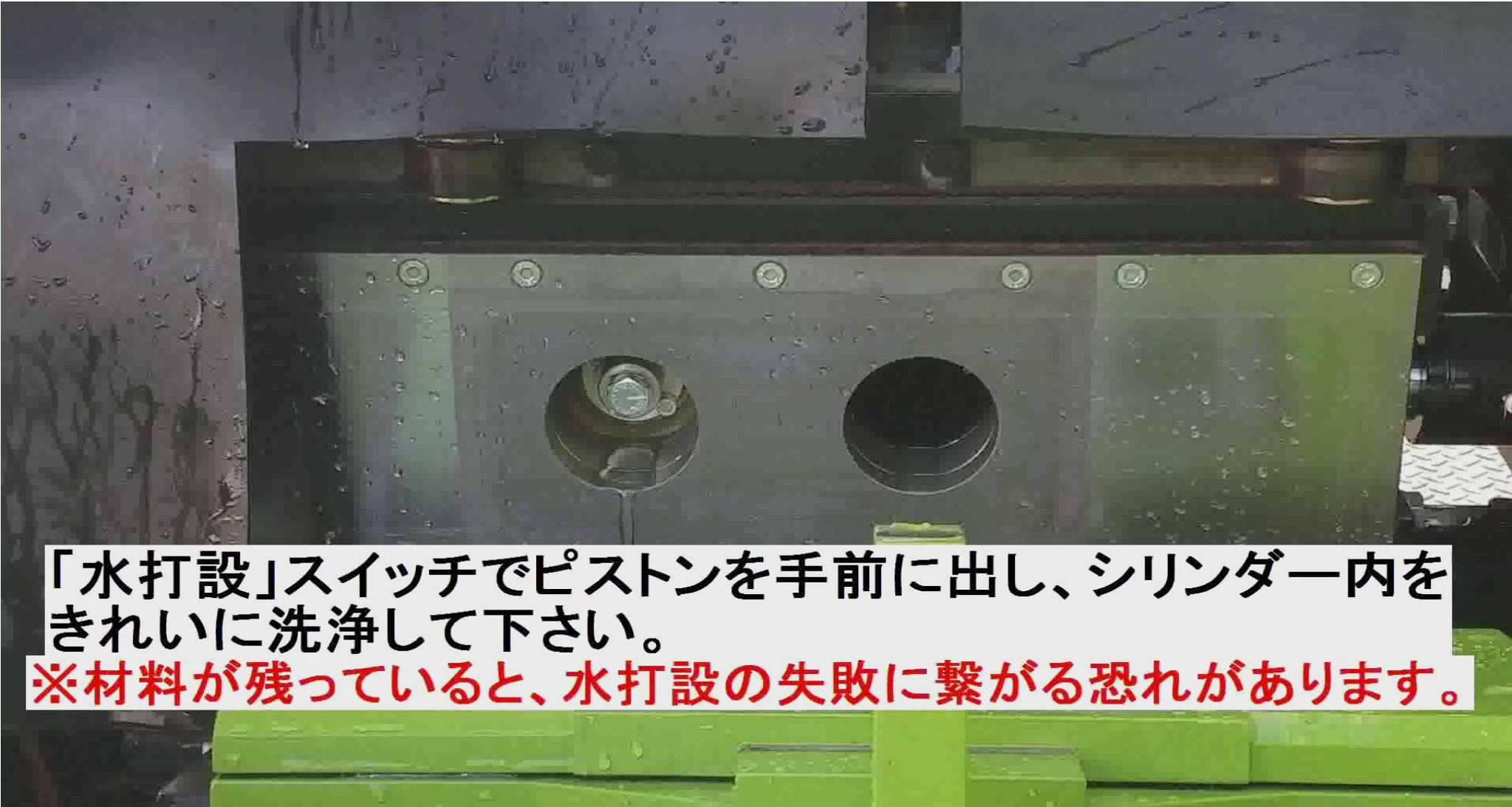
逆送をし、配管内の残圧を抜きます。
その後、配管を外します。
※この作業を忘れると、コンクリートが飛散し人身事故
(又は、重大事故)を起こす恐れがあります。

吐出量
減

手順2番目/全6手順

ホッパーを開け、面板とシリンダー内を洗淨します。





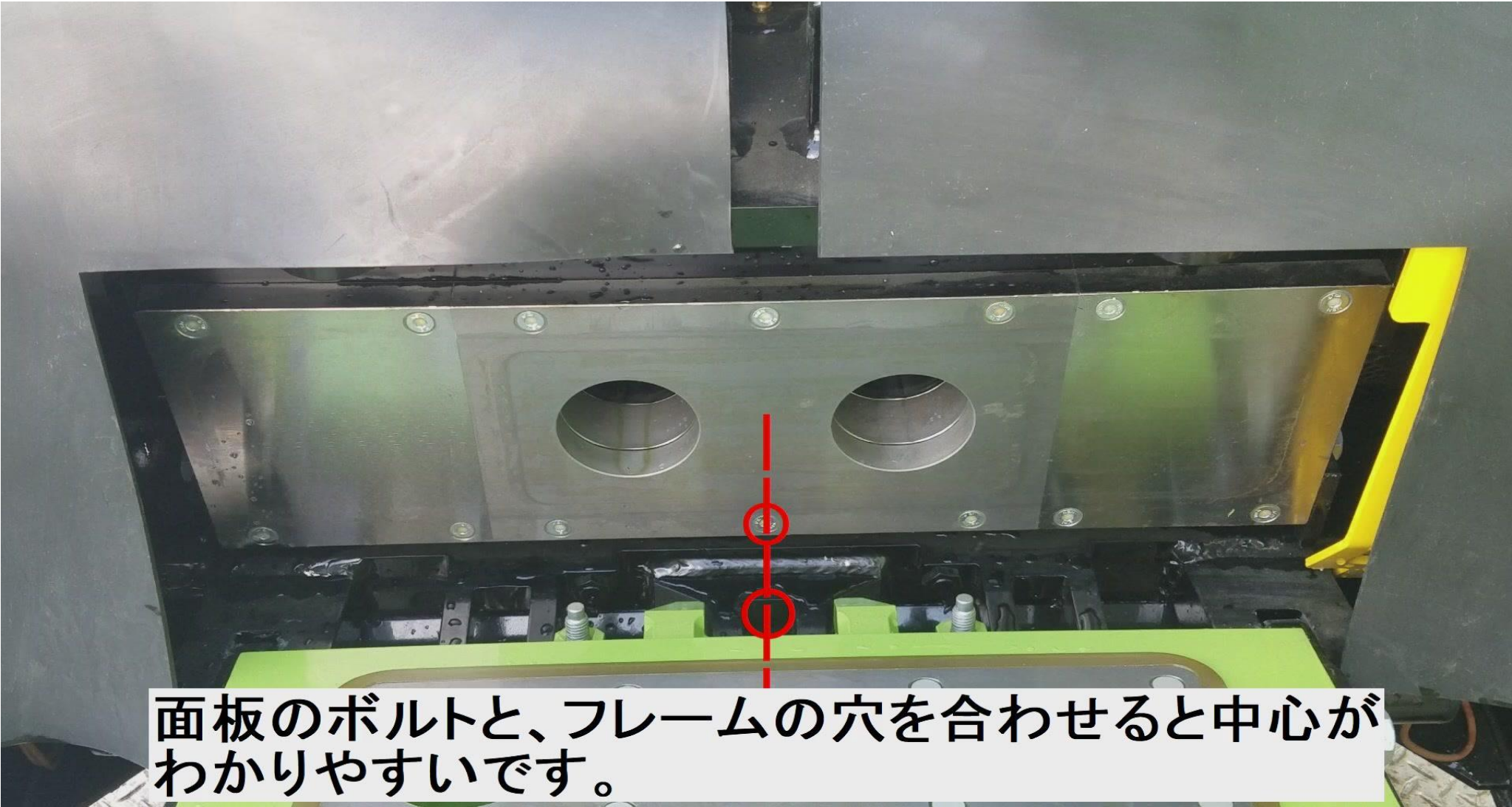
「水打設」スイッチでピストンを手前に出し、シリンダー内を
きれいに洗浄して下さい。

※材料が残っていると、水打設の失敗に繋がる恐れがあります。



シリンダー内洗浄後、水打設器具を取り付けるためにシリンダーを中心に寄せます。



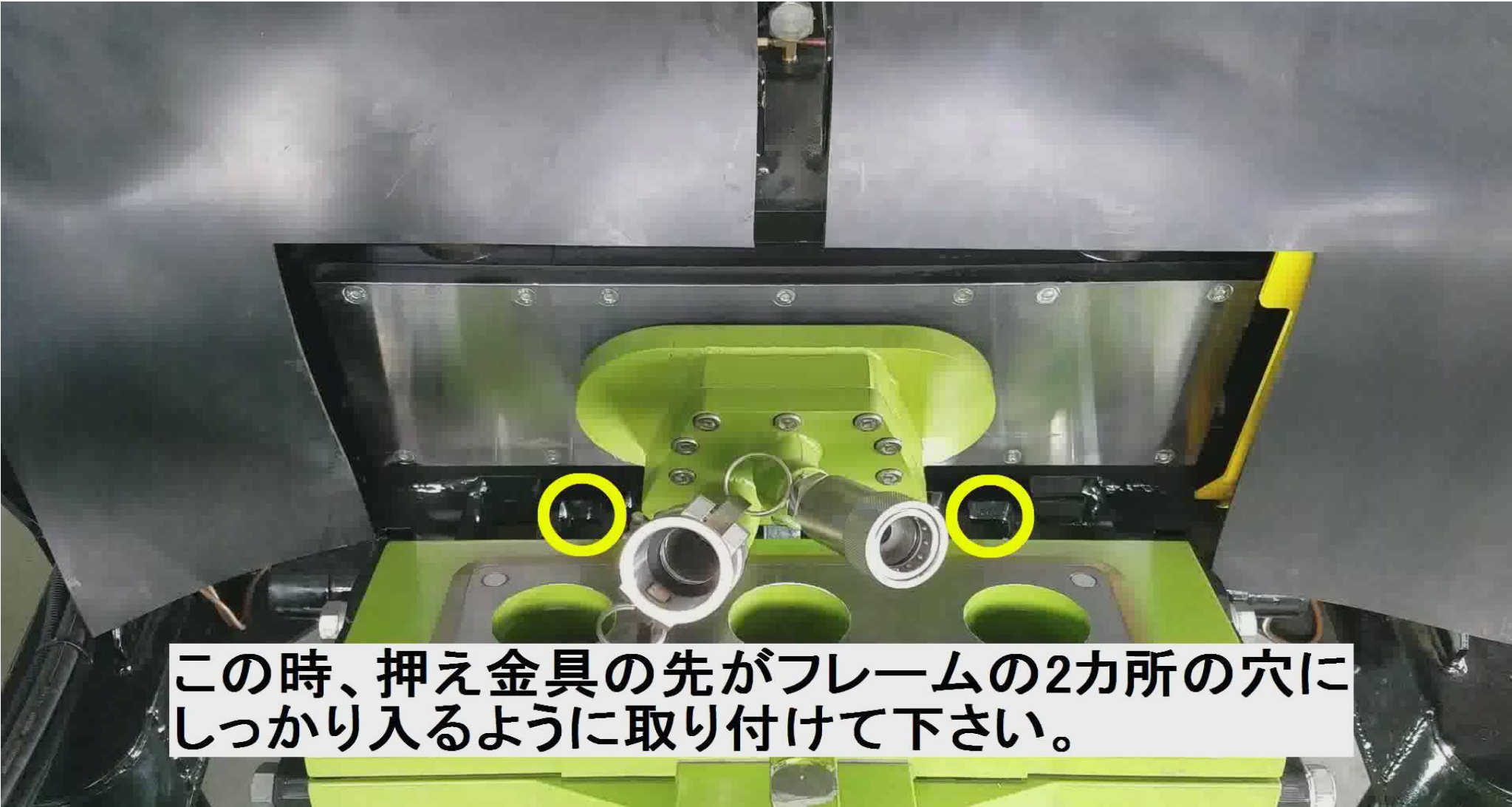


面板のボルトと、フレームの穴を合わせると中心が
わかりやすいです。

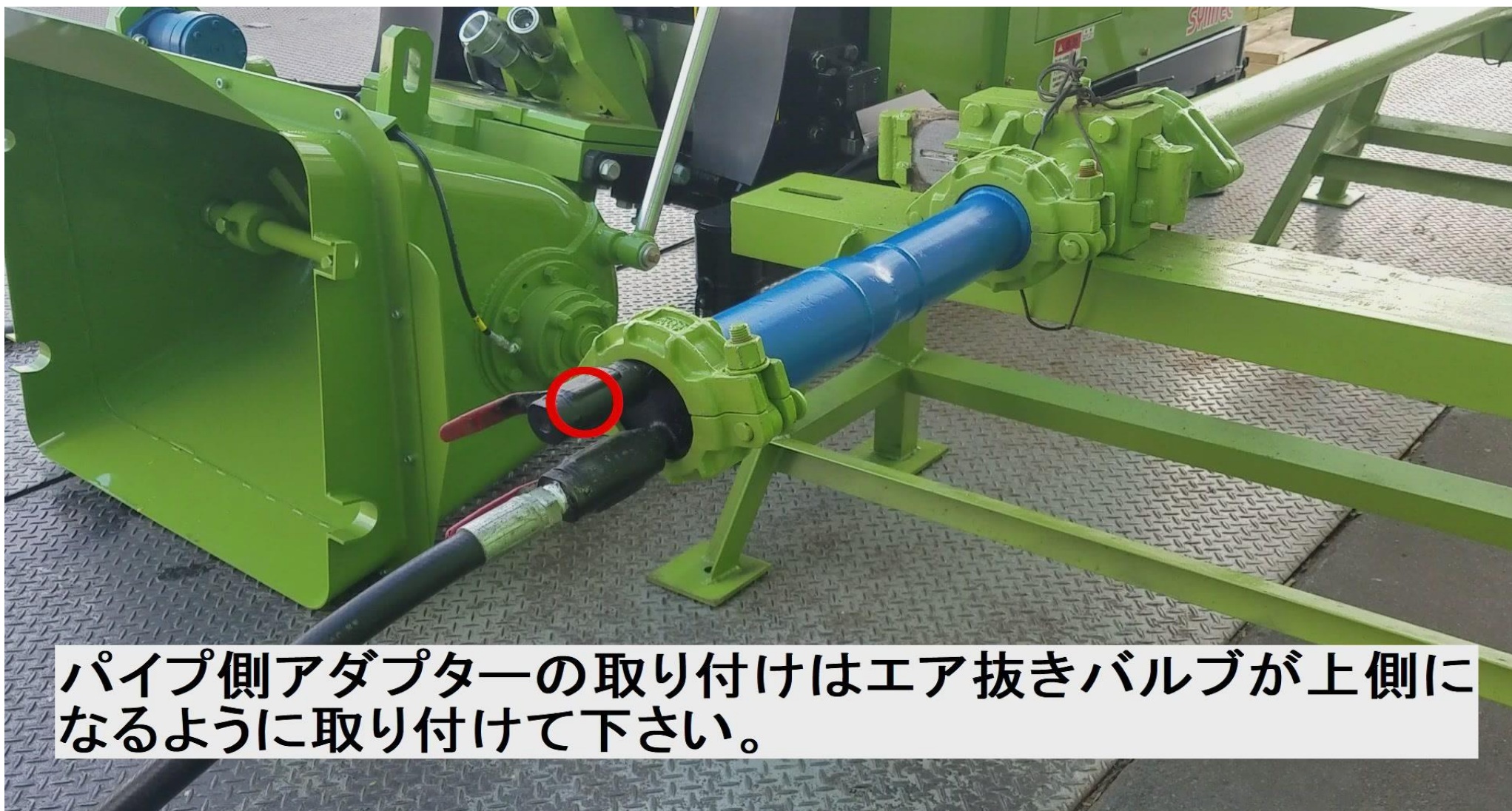
手順3番目 / 全6手順

次に水打設器具を取り付けます。





この時、押え金具の先がフレームの2カ所の穴に
しっかり入るように取り付けて下さい。



パイプ側アダプターの取り付けはエア抜きバルブが上側になるように取り付けて下さい。

手順4番目/全6手順

吸水ホースを取り付ける前に、シリンダー内か
吸水ホース内に呼び水を入れて下さい。
※呼び水がない場合、水の吸い上げが悪くなります。



レバーロックカプラ、ワンタッチカプラーともに確実に
取り付けられているか確認して下さい。

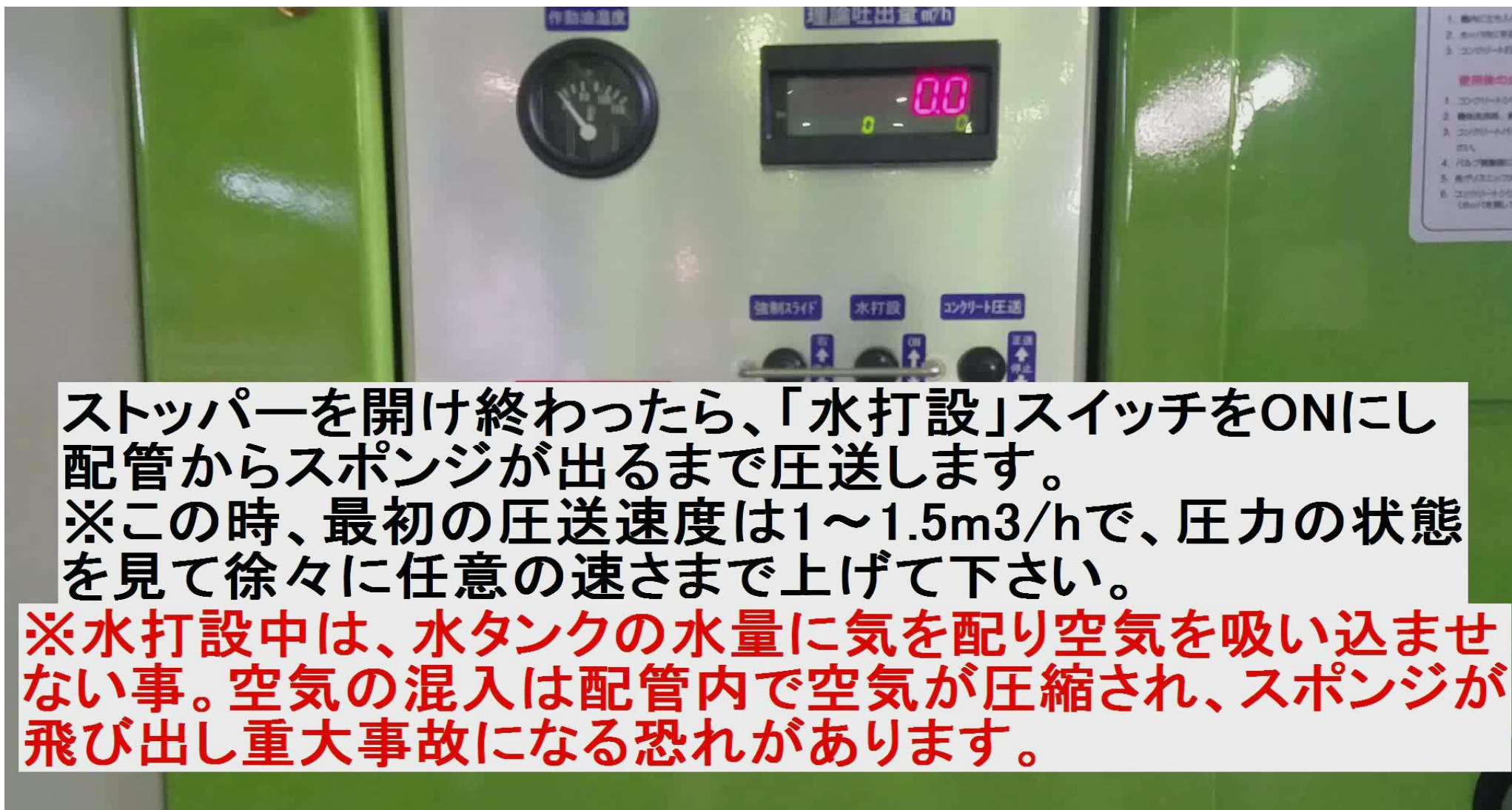
※水打設中にホースが外れた場合、重大事故になる
恐れがあります。

手順5番目/全6手順

水打設器具の取付けが終了したら、「水打設」スイッチをONにし、配管とシリンダー内のエアーを抜きます。
※打設速度は速すぎるとスポンジが動くので1m³/hくらいに設定して下さい。



水が噴出し、エアーが抜けたら「水打設」スイッチを一旦OFFにし、エアー抜きバルブを閉めストッパーを開けます。



ストッパーを開け終わったら、「水打設」スイッチをONにし配管からスポンジが出るまで圧送します。

※この時、最初の圧送速度は1～1.5m³/hで、圧力の状態を見て徐々に任意の速さまで上げて下さい。

※水打設中は、水タンクの水量に気を配り空気を吸い込ませない事。空気の混入は配管内で空気が圧縮され、スポンジが飛び出し重大事故になる恐れがあります。



水打設中に閉塞し、配管を外す場合は必ずエア抜きバルブを開き、配管内の圧力を抜いてから外して下さい。

※配管内の圧力を抜かなかった場合、配管内の材料が飛散し重大事故になる恐れがあります。

手順6番目/全6手順

挿入したスポンジが配管からすべて出ていることを確認して
水打設は終了となります。

※配管内にスポンジが残っている場合、次回打設時に
スポンジが飛び出し重大事故に繋がる恐れがあります。

A green SYMTEC industrial machine, possibly a waterjet cutter, is shown outdoors. It has a control panel with a digital display and buttons. A yellow tank is connected to the machine via a white hose. A black hose is also connected to the machine. The machine is on a black frame. The background is a grey corrugated metal wall and a green door.

以上で終了です。
お疲れ様でした。